

防衛省政策会議 議事要旨

日時：平成22年1月29日（金）午前8時00～9時16分

場所：衆議院第1議員会館仮庁舎地下1階 民主党A会議室

防衛省出席者：榛葉防衛副大臣、長島防衛大臣政務官（途中退席）

議題：①通常国会提出予定法案について

②普天間飛行場の移設に関する主な経緯について

③ハイチ国際緊急援助活動及び国連ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）への派遣準備状況について

④民主党「ハイチ大地震支援・調査団」報告について（藤田幸久参議院議員、首藤信彦衆議院議員）

長島政務官（退席後は榛葉副大臣）の司会により進行。

1. 議題①について法令審査官、議題②について日米防衛協力課長、議題③について国際協力課長から説明。その後、案件④について藤田議員及び首藤議員から説明。

2. 意見交換

【通常国会提出予定法案について】

- 弾道ミサイル等新たな脅威に合わせて、陸・海・空の各自衛隊の予算や人員の配分を見直していくべき。
- 冷戦終結後も自衛官の定数配分は変わっておらず、硬直化している印象を受ける。国土防衛や国際貢献活動のあり方の変化を踏まえ、防衛大綱の見直しの際に、かかる問題について議論すべき。

（榛葉副大臣）

変化する安全保障環境の中で、予算等限られた資源の配分の仕方を考えることは重要。かかる問題について、防衛大綱の見直し及び次期中期防策定の際に、しっかりと議論してまいりたい。

【普天間飛行場の移設に関する主な経緯について】

- 普天間問題について、単に経緯や事実関係を説明するだけでなく、政府に入っていない民主党の議員からも意見を吸い上げることのできる仕組みをしっかりと作ってほしい。
- 過去の経緯を説明する場合は、背景となる状況をもっと詳しく説明してほしい。

（榛葉副大臣）

防衛省政策会議において、まず普天間問題に係る経緯や事実関係について、与党議員の間で共通認識を持っていただいた後、議論を行ってまいりたいと考えている。

- 民主党のマニフェストにおいて、「米軍再編については見直しの方向で臨む」と記述されているので、米軍再編全体についてどのように取り組んでいるのか説明すべき。

(榛葉副大臣)

これまでのロードマップの経緯もしっかり踏まえつつ、負担の軽減と抑止力の維持をしっかりと見据えながら、議論してまいりたい。

【ハイチ国際緊急援助活動及び国連ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）への派遣準備状況について】

- ハイチに派遣された民主党調査団は、政府特使という形で派遣された方が、調査結果を具体的な支援の内容にもつなげることができるので、良かったのではないかと。

- 民主党調査団の報告によると、ハイチに派遣された自衛隊の医療援助隊は、手術ができる設備がないとのことであるが、かかる問題について今後研究する必要があるのではないかと。

(榛葉副大臣)

医療援助隊のあり方について、今後しっかりと検討を行ってまいりたい。

- 一部報道において、「訓練のためにアメリカに派遣されていたC-130を緊急援助活動に使用したということで、その際輸送した物資が偶然アメリカにあった」と理解されている面があるが、実際はJICAのもとで世界四箇所に国際緊急援助活動用の物資が常備されており、その一つを利用したということについて、しっかりと理解を求めるべき。

(以上)